

令和 2年度 施策評価シート（令和元年度実績評価）

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち

施策 02 生涯学習の推進

主管課： 生涯学習課

関係課： 企画課、市民協働推進課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	学習活動、スポーツ等の生涯学習に意欲を持った取組がなされているまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

生涯学習に取り組む市民の割合					(%)	生涯学習課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)	
36.30	40.10	36.80	43.00		45.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 生涯学習に取り組む市民の割合は、昨年度から3.3ポイント減少しており、基準値と比較してほぼ増減がない状況です。 (原因) 中央公民館改修工事に伴い、公民館活動を行うサークル数が減少しました。また、構成員が高齢化し、新規サークルの発足もありませんでした。 市民が活用しやすい施設環境の整備や参加しやすい講座設計など、市民の自主的活動や参加を後押しする支援が必要です。				
対前年度	低下					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

日ごろからスポーツを行っている市民の割合					(%)	生涯学習課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)	
31.80	32.40	31.40	38.00		40.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 日ごろからスポーツを行っている市民の割合は、昨年度から1.0ポイント減少しており、基準値と比較してほぼ増減がない状況です。 (原因) スポーツに親しむきっかけづくりのために開催するスポーツ教室に参加する年代が高齢化しています。子育て世代は「時間がない」などの理由でスポーツ活動に参加しない傾向が見られます。 誰もがいつでも・どこでも・気軽にできるスポーツの紹介や体験できる機会を積極的に提供する必要があります。				
対前年度	横ばい					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

図書館の貸出点数（年間）					(冊)	生涯学習課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)	
864,539.00	985,254.00	976,305.00	995,000.00		1000000.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 図書館（分室含む）における図書の貸出点数は、昨年度と比較して横ばいです。 (原因) 中央公民館図書室の休室（改修工事による）及び3月に新型コロナウイルス感染防止対策で中央図書館3階フロアの閉鎖や座席の制限を行ったため、貸出等の利用が減少しました。今後は、電子書籍の提供にも力を入れながら、新しい生活様式での読書機会を提供していきます。				
対前年度	横ばい					
目標達成度	高					
次年度課題	課題としない					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	372,436	728,739	877,215	424,404	391,132
人件費	74,937	93,405	126,572	0	0
トータルコスト	447,373	822,144	1,003,787	424,404	391,132

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
01 自主的なサークル活動の支援と学習機会・場の提供	横ば	向上	低下		322,674	668,260	816,577	361,460	347,078
02 生涯スポーツのきっかけづくりと自主的な活動の支援	向上	低下	横ば		27,637	37,431	39,045	28,629	21,642
03 親しみを感じる芸術・文化の推進	横ば				5,641	5,764	5,752	5,818	6,163
04 文化財を愛する心の育成	横ば	横ば			1,099	704	572	11,313	898
05 国際交流の推進	維持	横ば			15,148	15,179	14,005	15,149	13,316
99 施策の総合推進					237	1,401	1,264	2,035	2,035

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>公民館は、子育て世代の利用が少ないことが課題の一つです。中央公民館改修工事を行い、キッズスペースや少人数でも活動できる貸室を増やしました。他館についても計画的に施設の改善を行い、市民が安心して活動できる環境を整備する必要があります。</p> <p>「いきいき茨城ゆめ国体2019」や「守谷ハーフマラソン」には、競技観戦に多くの市民が訪れました。運営ボランティア等、スポーツを支える市民も増加しました。今後、多様な形でスポーツに親しむ市民の増加に努める必要があります。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>市民が気軽に取り組める芸術・文化及びスポーツ活動の機会や情報を提供し、生涯学習に取り組む市民の増加に努めます。</p> <p>「いきいき茨城ゆめ国体2019」の開催後も、開催競技が地域に根付き、地域活力の向上とスポーツ振興につながるよう取り組みます。</p> <p>図書館運営は、貸出、レファレンスなど基本的なサービスの充実を図るとともに、「中央図書館との連携による学校図書館の充実」に向けて、児童生徒が行きたくなる魅力的な学校図書館づくりを進めます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性

<p>日ごろから生涯学習及びスポーツに取り組む市民の割合が減少傾向にあります。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を踏まえて、講座・イベント等のオンライン化を推進するなど、市民がいつでも気軽に取り組める芸術・文化及びスポーツ活動の機会や情報提供の方法を見直すとともに、特に、スポーツについては、市民の健康維持・増進に効果が期待されるため、未実施者に活動を促す必要があります。</p> <p>図書館運営は、引き続き貸出、レファレンスなど基本的なサービスの充実を図るとともに、電子書籍の提供や学校図書館の充実に力を入れ市民の読書環境の整備を進めます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減